

## パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

第4次成田市環境保全率先実行計画（原案）

- ・意見等の募集期間

平成29年12月18日 から 平成30年1月16日まで

- ・意見等の件数

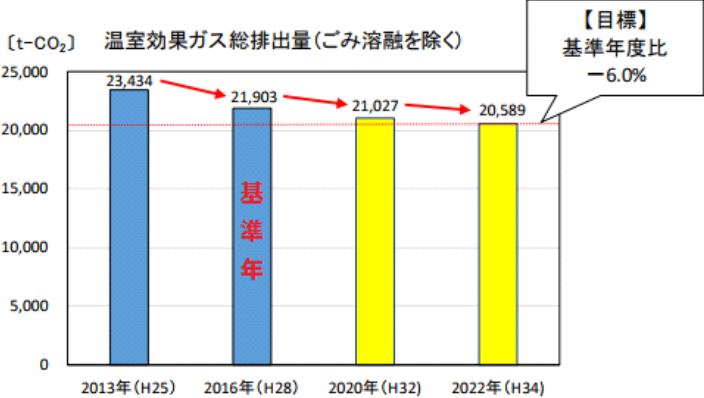
7件 （1人）

- ・担当課

環境計画課（20-1533）

第4次成田市環境保全率先実行計画（原案）について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>現状把握から対策の立案、運用方法の検討まで、必要な事柄がまんべんなく網羅された良い計画であると思う。P D C Aの積極的運用により、市民ならびに市内事業者のお手本として、先進的な環境への取組を率先することを期待する。</p>	<p>市民ならびに市内事業者のお手本となるような環境への取組を率先して実施するよう努めてまいります。</p>
2	<p><b>2-2 主要施設別、部門別の温室効果ガス排出量</b></p> <p>市民から見た場合、「成田富里いずみ清掃工場」からの温室効果ガス排出量が多い理由が分からないために、環境性、経済性ともに高い施設であるにも関わらず、環境に悪い施設との印象を与えてしまう恐れがある。P 7の余白部分に「ごみ発電の環境性」に関する注釈を加えてはどうか？</p>	<p>老朽化したごみ焼却施設に代わる新たな施設として、成田市と富里市の共同事業により「成田富里いずみ清掃工場」を整備し、平成24年10月から供用を開始しました。同施設では、ごみを熔融するときに発生する余熱を利用した発電を行っています。</p> <p>第2章 温室効果ガスの排出量等の現状、2-2 主要施設別、部門別の温室効果ガス排出量の説明において、清掃工場で行っている発電が温室効果ガスの削減に寄与していることを追記いたします。</p>
3	<p><b>グラフの記載方法の変更</b></p> <p>グラフの2016年の棒部分に「基準年」である旨のコ</p>	<p>第3章 目的及び取り組み、3-1 温室効果ガス総排出量の削減目標、(3) 温室効果ガス排出量（一般廃棄物の溶</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方										
	<p>メントを追記されてはどうか？</p> <p><b>【記載例】</b></p>  <table border="1" data-bbox="398 395 1099 794"> <caption>温室効果ガス総排出量(ごみ溶融を除く)</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年 (H25)</td> <td>23,434</td> </tr> <tr> <td>2016年 (H28) 基準年</td> <td>21,903</td> </tr> <tr> <td>2020年 (H32)</td> <td>21,027</td> </tr> <tr> <td>2022年 (H34)</td> <td>20,589</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】 基準年度比 -6.0%</p>	年次	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	2013年 (H25)	23,434	2016年 (H28) 基準年	21,903	2020年 (H32)	21,027	2022年 (H34)	20,589	<p>融分を除く)の削減目標、及び(3)一般廃棄物の溶融に伴う温室効果ガス排出量の削減目標の図において、基準年度の表示を追記いたします。</p>
年次	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )											
2013年 (H25)	23,434											
2016年 (H28) 基準年	21,903											
2020年 (H32)	21,027											
2022年 (H34)	20,589											
4	<p><b>(3)一般廃棄物の溶融に伴う温室効果ガス排出量の削減目標</b></p> <p>P5と同様に、2013年に比べ2016年の一般廃棄物の溶融分の温室効果ガスの排出量が増えた理由についての注釈が必要と思われる。</p> <p>具体的には、次の項目を説明されてはどうか。</p> <p>「成田富里いずみ清掃工場の新規稼働に伴い排出量が増大した。同清掃工場では、「ごみ焼却発電」が行われている。ごみ焼却発電は環境にも優しい技術である。」</p>	<p>NO.2のご意見と合わせて、一般廃棄物の溶融分の温室効果ガスの排出量が増えた理由及び清掃工場で行っている発電について、適所に追記いたします。</p>										

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
5	<p>また、使用エネルギーを拝見すると、一部にA重油が用いられています。設備の更新時には、CO<sub>2</sub>排出係数の大きい「A重油」から、低炭素な「天然ガス」等への燃料転換を考えてはどうか。</p>	<p>CO<sub>2</sub>排出係数の低い燃料や電力への転換の検討は、温室効果ガスの総排出量を削減する上で有効な手段であると認識しております。</p> <p>「排出係数の低い燃料や電力への転換の検討」として、第3章 目的及び取り組み、3-2 具体的な取組、(2) 庁舎・施設管理における省エネルギー化の推進に取組項目として追記いたします。</p>
6	<p><b>3-2 具体的な取組</b>  <b>(7) 公共施設の建設等に関する取組</b></p> <p>行政機関として、環境配慮を社会的に広める必要性、また、環境に配慮した建設工事を行う必要性から、発注の相手方の環境配慮の状況も契約に際して考慮に入れてはどうか？</p>	<p>グリーン契約（環境配慮契約）については、第3章 目標及び取り組み、3-2 具体的な取組、(9) 計画の実効性を高めるための支援制度の検討における取組項目として記載しています。</p>
7	<p>「ごみ焼却発電の環境性と経済性」コラムの追加  巻末のスペースを利用し、市民の皆さんに成田富里いずみ清掃工場の環境性ならびに経済性についてご理解いただくためのコラムを掲載されてはどうでしょうか？</p>	<p>NO. 2、NO. 4のご意見と合わせて、「ごみ焼却発電の環境性と経済性」について、適所にコラムを追記いたします。</p>